

# 委員会報告 見る・聞く・動く

## 埼玉県中川流域下水道中川水循環センター視察

(総務産業常任委員会)

松伏町では25年度予算で中川下水循環センターに約6000万円の支出をしている。埼玉県では6ヶ所の終末浄化施設があり、中川もその1つです。(三郷インターの近くにある大きな煙突のある施設)

同施設は11市4町の終末処理をしています。対象人口は145万人。

1日の処理能力は76万トン(ソニックシティビルの1.5倍)分の下水をコイやフナが住める水質にして放流。標準活性汚泥法では最初、沈殿池から中川に放流するまでに12時間かかるという。

放射線問題における焼却灰が年間3,000トンが出され、施設内に山積みとなっていました。



## 「子ども・子育て支援制度」の調査

(文教民生常任委員会)

4月24日、国の新たな政策「子ども・子育て支援制度」の調査をしました。松伏町に関わる内容では、認定子ども園の普及、子どもが減少傾向にある地域の保育支援などが盛り込まれています。ただ、事業の本格的実施は消費税のアップ分を財源にしていますので、早くても平成27年度からになります。

5月2日、「障害者自立支援法」の改正を受け、松伏町の障がい者計画と障がい者福祉計画がどのような影響を受けるのか調査しました。多様な障害者施設の整備や一般就労対策が十分とは言えず、今後も継続して調査していきます。

## さらに議会を活性化させる

(議会活性化特別委員会)

5月22日に第5回の委員会を開催しました。

多くの課題が山積されている中で、次の課題について議論しました。

「議員研修会等の充実について」、実際に基本的な内容の研修会を企画立案し、実施することにしました。講師の都合などもあるので、先進議会の調査研究ができる議会の視察研究をおこない、議案質疑の一問一答制や通告制、反問権、反論権なども合わせて調査研究していきます。

また、「公聴会、参考人制度の活用」や「議会の先例、慣例等の申合わせ事項の検証」など、今後、議論していきます。